

2024年度

SA

## 小論文

3月12日(火)

人文社会科学部 (社会学科)

10:00~11:30

【後期日程】

### 注意事項

#### 試験開始前

- 1 監督者の指示があるまで、問題冊子、解答用紙、下書き用紙に手を触れてはいけません。
- 2 監督者の指示に従って、全部の解答用紙(3枚)に受験番号を記入しなさい。

#### 試験開始後

- 3 この問題冊子は、3ページあります。はじめに、問題冊子、解答用紙、下書き用紙(1枚(表裏))を確かめ、枚数の不足や、印刷の不鮮明なもの、ページの落丁・乱丁があった場合は、手をあげて監督者に申し出なさい。
- 4 解答は、すべて解答用紙に記入しなさい。(下書き用紙と間違わないよう十分注意してください。下書き用紙は採点対象となりません。)
- 5 文字数制限のある解答用紙の記入については、下記の点に留意すること。

- ・書き出しは、一マスあけない。
- ・改行したら、最初の一マスをあける。
- ・句読点は、それぞれ一マス使う。行の末尾については文字と同じ一マスに含める。
- ・小さな文字「っ」「ゃ」「ゅ」「ょ」はそれぞれ一マスで使う。
- ・英数字は一マスに2文字入れてよい。

- 6 問題は、声を出して読んではいけません。
- 7 配点は、比率(%)で表示してあります。

#### 試験終了後

- 8 問題冊子と下書き用紙は、必ず持ち帰りなさい。

著作権の関係上、公表しません。

次の文章を読んで、後の問に答えなさい。

著作権の関係上、公表しません。

著作権の関係上、公表し  
ません。

(山岸俊男『社会的ジレンマ——環境破壊から「いじめ」まで』PHP新書、二〇〇〇年刊より)

問一 「共有地の悲劇」が社会的ジレンマであることを二〇〇字以内で説明しなさい。(配点三〇%)

問二 あなたの身近にある「社会的ジレンマ」について例示し、あなたが取っている行動の理由を「社会的ジレンマ」に即して六〇〇字以内で述べなさい。  
(配点七〇%)

## 採点・評価基準(具体的基準)

教科・科目名	小論文(後期日程試験:令和6年度)	問題番号	SA
対象学部・学科(課程)等	人文社会科学部(社会学科)		
出題のねらい	<p>課題文は、社会のさまざまな現象に関わる「社会的ジレンマ」を取り上げ、それを明解に定義するとともに、その具体的な事例として歴史上有名な「共有地の悲劇」を詳細に紹介することで、よりよい理解を促そうとした一節である。本試験では、こうした定義や事例を正しく結び付けて理解する読解力と、そのような現象を自分事として捉え、またそれに対する自分の考えを論理的に表現する力を問うことをねらいとする。</p> <p>問1では、「社会的ジレンマ」の定義を理解し、具体的な事例にあてはめて要約する能力を問う。</p> <p>問2では、社会の一員として「社会的ジレンマ」を捉える能力と、課題文で説明されている心理的なメカニズムを正しく理解し、自分の行動を論理的に説明し、表現する能力を問う。</p>		
採点基準	<p>問1 配点30%(60点)</p> <p>① 課題文の定義を正しく理解していること。</p> <p>② 定義にある「協力行動」「非協力行動」というキーワードを用いて、「共有地の悲劇」を説明していること。</p> <p>③ 文章全体に整合性があること。</p> <p>④ 誤字、脱字、文法上の誤りがないこと。</p> <p>問2 配点70%(140点)</p> <p>① 社会的な視点を有していること。</p> <p>② 例示された問題が「社会的ジレンマ」になっていること。</p> <p>③ 自分の行動を「社会的ジレンマ」の定義と結び付けて論理的に説明していること。</p> <p>④ 文章全体に整合性があること。</p> <p>⑤ 誤字、脱字、文法上の誤りがないこと。</p>		